

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『ベティ・バニー チョコレートケーキだい
すき』（えほん） マイケル・B・カプラン／作
ステファン・ジョリッシュ／絵 バベルプレス



ベティはチョコレートケーキ
のことでいつもあたまがいっぱ
い。だいすきなケーキといっしょ
に学校に行きたい。

『おおかみだってきをつけて』（えほん）

重森千佳／作・絵 フレーベル館



えほんのなかでは、おおか
みはいつだってわるもの。で
も、ほんとうは、おおかみの
ほうがこわがりかも？

『こねこのレイコは一年生』 ★

ねぎしたかこ／作 にしかわおさむ／絵 のら書店

レイコは、かしこいねこに
なるために小学校に通いま
す。あそんだり、べんきょうし
たり、大はしゃぎですが。



『あたらしい子がきて』 ★★

岩瀬成子／作 上路ナオ子／絵 岩崎書店

みきとるいに弟ができました。
みんなは、赤ちゃんにむちゅうで
す。ふたりは、家を出てしまいま
した。



『サクラ・タイムトラベル』 ★★★

加部鈴子／作 岩崎書店



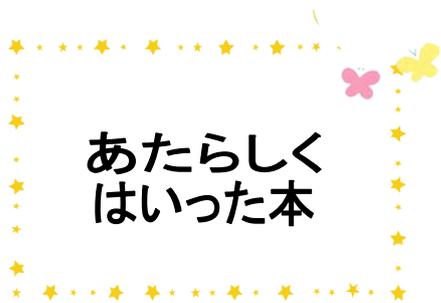
江戸時代にタイムスリップし
てしまった志保といこの龍之
介。二人は火事から将軍を助け
出すこととなります。

『花粉症のない未来のために』（ちしきの本）

金治直美／文 佼成出版社



花粉症でこまっている人の
ために、花粉をつけないスギを
つくる。富山県で働く斎藤真己
さんのお話です。



あたらしく はいった本

『 ミシンのうた 』（えほん）

こみねゆら作 講談社

「わたし」は、まちのふくやさんのみならい。まんげつのばんにミシンをまわすと、ふしぎなうたがきこえてきました。



『 おたまじゃくしのたまちゃん 』 ★

深山さくら／作 山本祐司／絵 佼成出版社



友だちは、りっぱなかえるになるのに、たまちゃんは、おたまじゃくしのまま。いつになったらかえるになれるのかな？

『 きょうりゅうじゃないんだ 』 ★

斉藤洋／作 高島純／絵 PHP 研究社



きょうりゅう・ランドにいじょうじたいがおこった。口から火をふく、おそろしいかいじゅうがまぎれこんでいたのだ！

『 漢字だいぼうけん 』 ★★

宮下すずか／作 にしむらあつこ／絵 偕成社

同じ漢字でも読み方がちがったり、形にも意味があったり。漢字にはおもしろいことがたくさん！



『 氷の巨人コーリン 』 ★★

スズキコージ／絵・文 集英社

氷の巨人コーリンは、100年に1回だけ目をさます。人間の子ともと出会い、なぞなぞ対決をすることに！



『 いっしょにアムベ！ 』 ★★★

高森美由紀／作 ミロコマチコ／絵 フレーベル館



大震災で孤児になった有田圭太が、ノボルの家で暮らすことに。ノボルは、有田の心の深いきずと、いたみを知ります。

『 三千と一羽がうたう卵の歌 』 ★★★

ジョイ・カウリー／作 デヴィッド・エリオット／絵 さ・えら書房



セモリナは飼い主にだけ人間の言葉で話すニワトリ。キツネが卵をねらっていることを話しますが、だれも信じてくれません。

『 食べて始まる食卓のホネ探検 』（ちしきの本）

盛口満／文・絵 少年写真新聞社

フライドチキンを食べたあとの骨で、ニワトリのどの部分を食べたのかわかります。食べたものから骨をめぐる探検に出発！



『 あのヒット商品はこうして生まれた！ 』

①』（ちしきの本） エスプレ／編 汐文社

ロボットそうじきなど、みんながほしくなる商品には、ヒットする“ひみつ”がかくれているよ。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！ としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273